

そうとうしゅう　えきようざん　しょうでんあん

住職　今成　幸裕

ご挨拶　令和八年一月　曹洞宗　突葉山　昌傳庵

副住職　今成　健二

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

であるという意味です。

さて、令和六年から今年までの三年間

だいぶ前の話ですが、テレビで「下町

ロケット」というドラマをしていました。

は庫裡建設の寄付金勧募の期間で、令和九年には庫裡建設が始まります。

下町の小さな工場が作る精度の高いロケ

ット部品。主人公の社長は、利益を追求

どうぞ今年も皆様方にとつて良い年で

する大企業やライバルからの妨害を受け

ながらロケット打ち上げの夢を追い続け

ありますよう心からお祈り申し上げます。

するという内容でした。何か凄い事をする

た人間であれば、その任を全う出来る資

格があるということです。世の中を見て

は現実も変わらないだろうなあと、ドラ

マを見ながら思い起こしたのは、孟子の

大般若法要の法話は、今まで住職がし

言葉の有名なある一節です。

『天の将に大任をこの人に下さんとする

ていて、これまで住職がしてきましたが、これからは他寺院様に交

や、必ずその心志を苦しめ、その筋骨を

きます。こちらの出典はおそらく聖書か

代でお願いします。今年は高国寺様です。

勞せしめ、その体膚を飢えしめ、その身

を空乏にし、行いにはその為す所を払乱

せしむ。心を動かし性を忍び、その能わ

ざる所を曾益せしむる所以なり』

曹洞宗の道元禅師も曰く『玉は琢磨に

よりて器となる。人は鍊磨によりて仁となる。』宝石も磨いてこそ光輝く、人間

天がその人に重要な任務を与えるよう

も同じだということです。

する時は、必ずその心や志が挫折するよ

うな事を起こし、肉体を疲労させ生活を困窮させ、その人が行おうとする事は何でもうまくいかないように仕向けるもの

も色々な言葉に励まされ、乗り越えてい

今年の大般若法要

日時；4月18日（土）14：30～受付
内容；15：00 法話（鍛冶町 高国寺住職）
15：30 法要 16：00 懇親会
(弁当をお持ち帰り下さっても結構です)
会費；3,000円（お札御祈祷,懇親会費）
申込み；電話（0238）23-0390

坐 禅 会

5月～10月の第1日曜日 朝7：00～
申込不要。体が硬く足の組めない方でもOK